

上越市の将来推計人口 (地域自治区別)

上越市創造行政研究所

上越市企画政策課

目 次

はじめに	・・・	1
高田区、新道区	・・・	2
金谷区、諏訪区	・・・	3
和田区、津有区	・・・	4
春日区、三郷区	・・・	5
高土区、直江津区	・・・	6
有田区、八千浦区	・・・	7
保倉区、北諏訪区	・・・	8
谷浜・桑取区、安塚区	・・・	9
浦川原区、大島区	・・・	10
牧区、柿崎区	・・・	11
大湊区、頸城区	・・・	12
吉川区、中郷区	・・・	13
板倉区、清里区	・・・	14
三和区、名立区	・・・	15
【参考】転入者数が増加した場合の 将来推計人口の例（安塚区）	・・・	16

■ はじめに

この資料は、地域自治区別の人口の将来推計をご紹介します。データの詳細な分析や二次利用などされる場合は、下記に示したデータの定義や出所等にご留意ください。

○ 本データは、上越市創造行政研究所において独自集計したものです。

この資料に記載した内容を引用する場合は、上越市創造行政研究所の作成である旨を明記してください。なお、記載されている内容を加工・編集して二次利用することは避けてください。

○ お示した将来推計人口は、現在の傾向が続くことを仮定したものです。

将来推計人口の算出にあたっては、コーホート変化率法と呼ばれる手法を用いています。これは、年齢ごとの過去の移動率を基に、それが今後も継続すると仮定して将来の人口を算出する方法です。市としても、ここで示した通りに人口が推移することを享受するものではありません。

なお、今回の推計においては、2010（H22）年から2015（H27）年までと2015（H27）年から2020（R2）年までの移動率の平均値から将来推計人口を算出しています。

○ 将来推計にあたっては、国勢調査のデータを用いています。

国勢調査は5年ごとの調査ではありますが、実際に市内に住んでいる人の数がわかり、実態を正確に把握できるほか、その内訳の把握や全国との比較も可能です。なお、国勢調査の最新値は2020（R2）年です。

住民基本台帳における人口とは定義が異なることから、値が一部異なります。

○ 地域自治区別の集計は、町丁字（住所）単位のデータを合計しています。

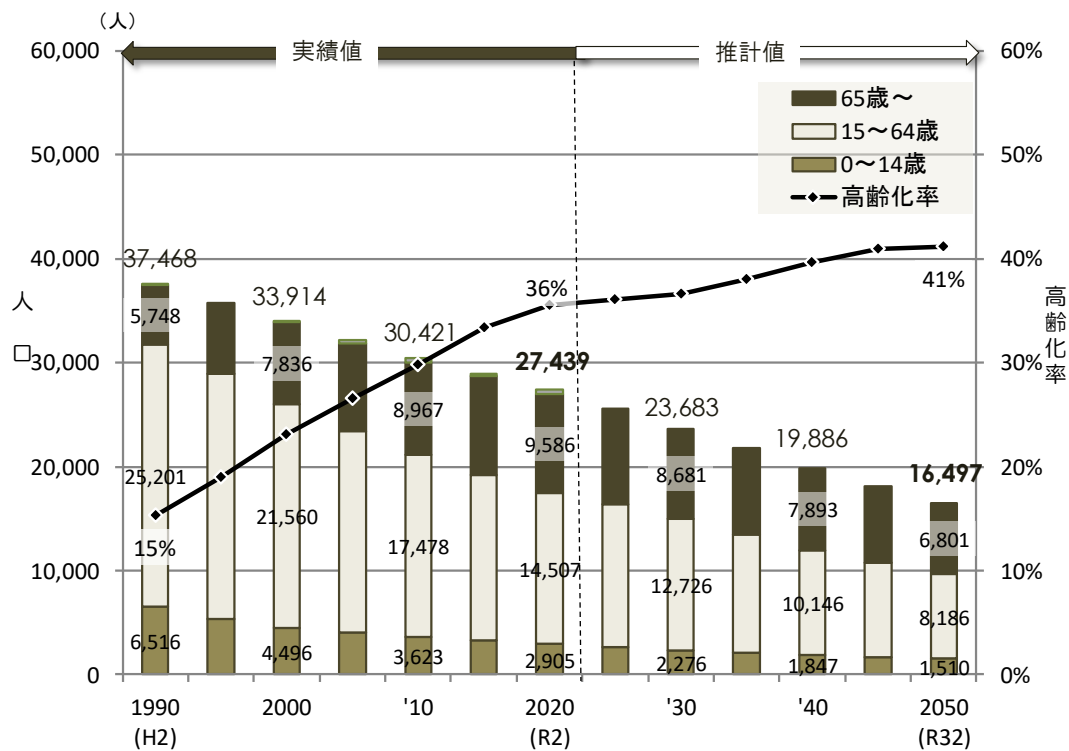
実際の地域自治区は行政区（町内会）単位で構成されているため、合併前上越市の一部の区では、実際の値と一部異なります。

将来推計人口の考え方

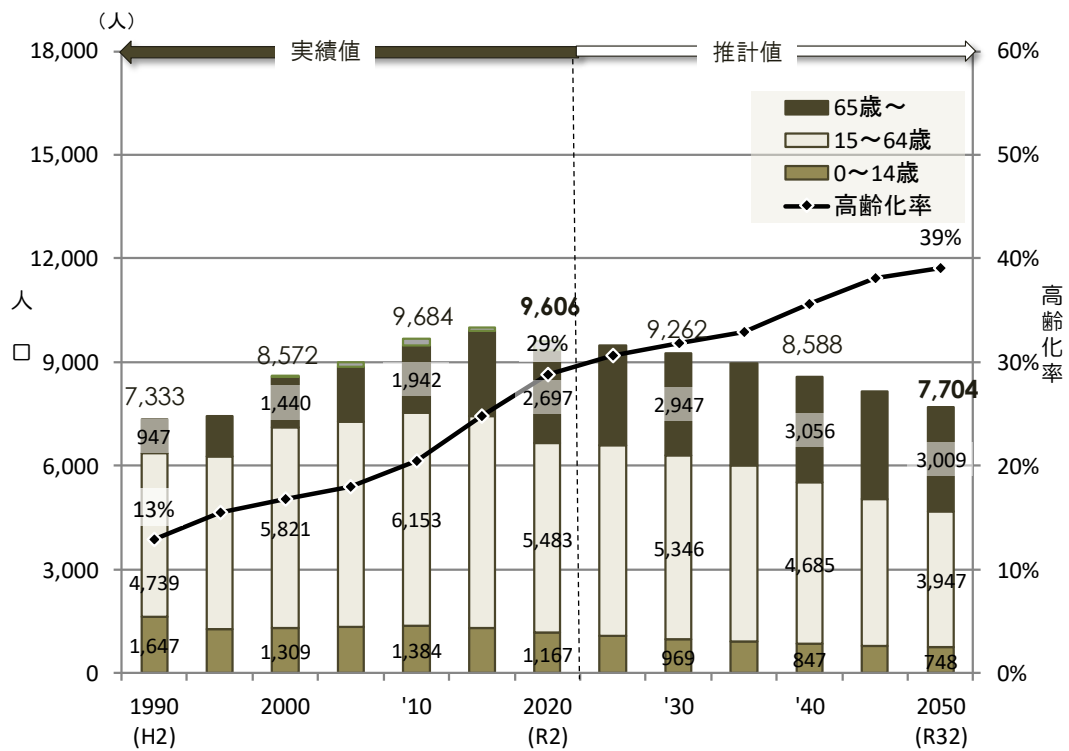
将来推計人口とは、「一定の条件のもとで人口が推移した場合の将来の人口」を示すものであり、仮定する条件が変われば結果も変わり得るものです。

このため、ここでお示した将来推計人口を前提とするのではなく、将来的に人口が安定するよう、移動傾向を改善させる取組を検討していくことが求められます。具体的な目標値の例は16ページに記載しています。

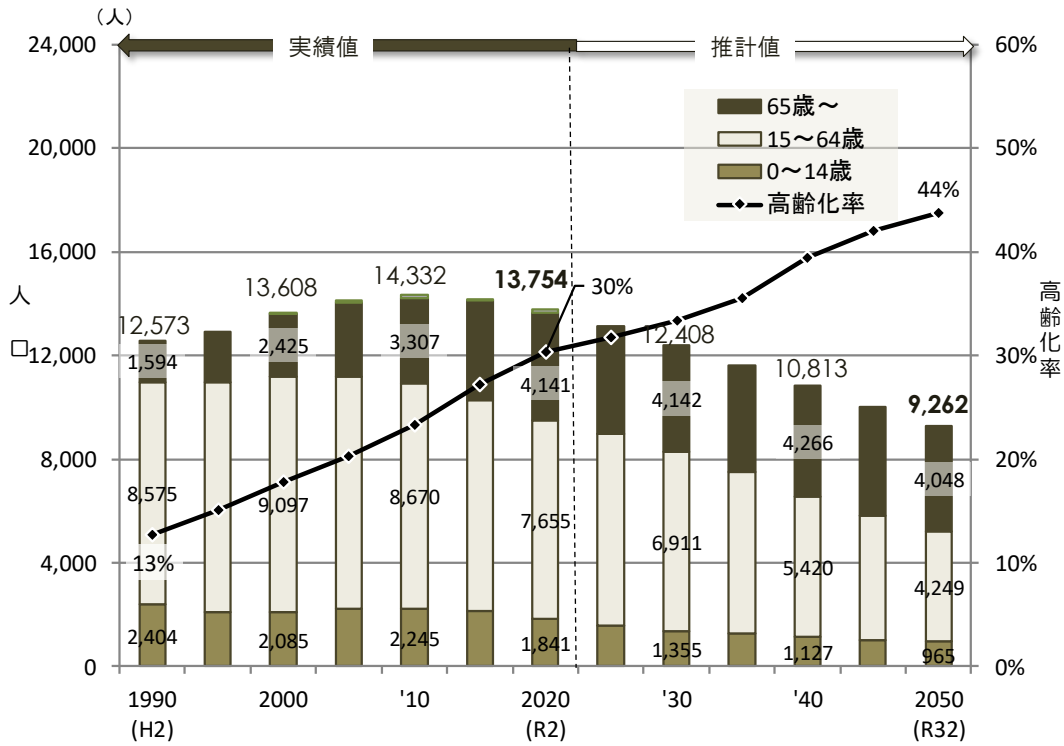
高田区



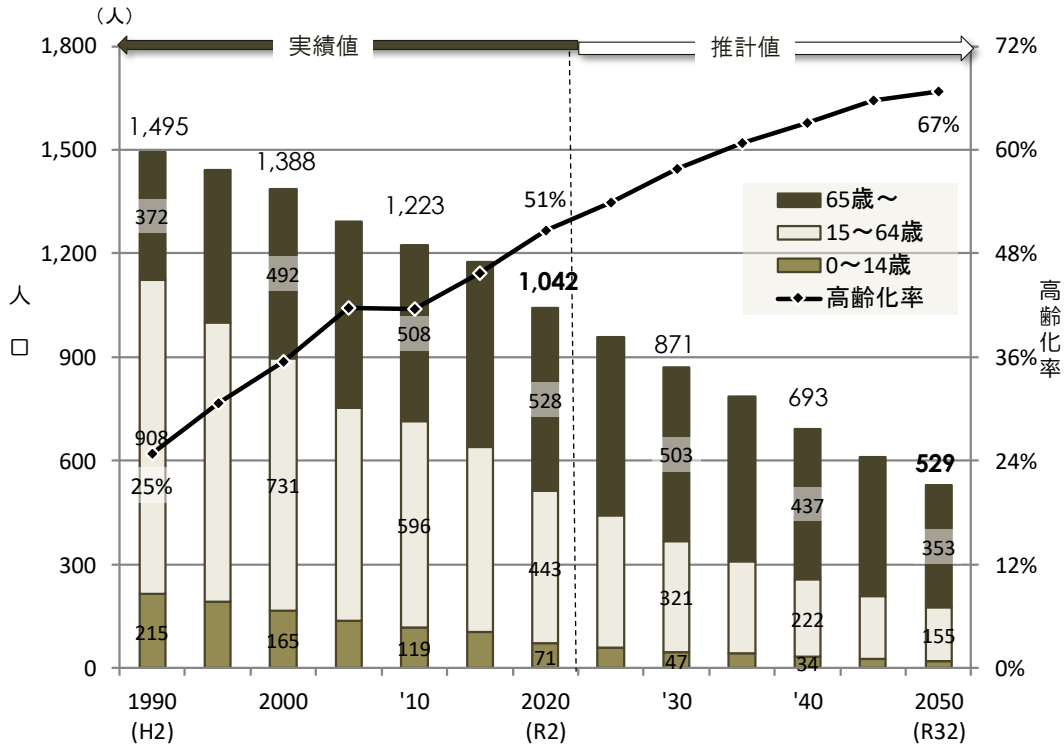
新道区



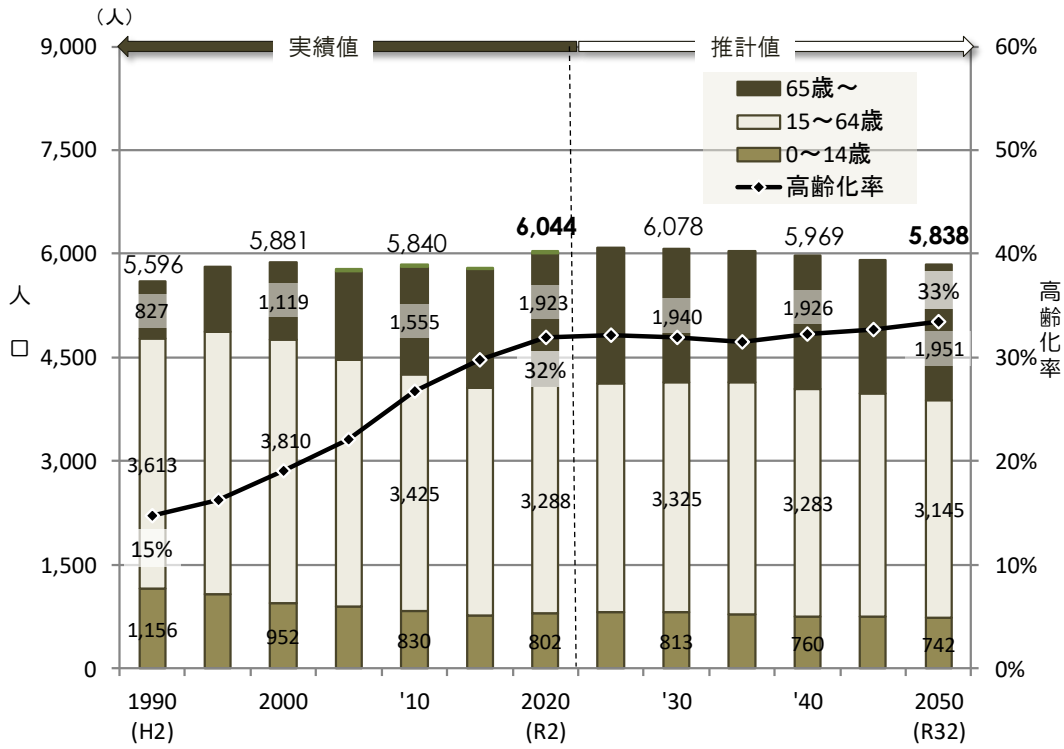
金谷区



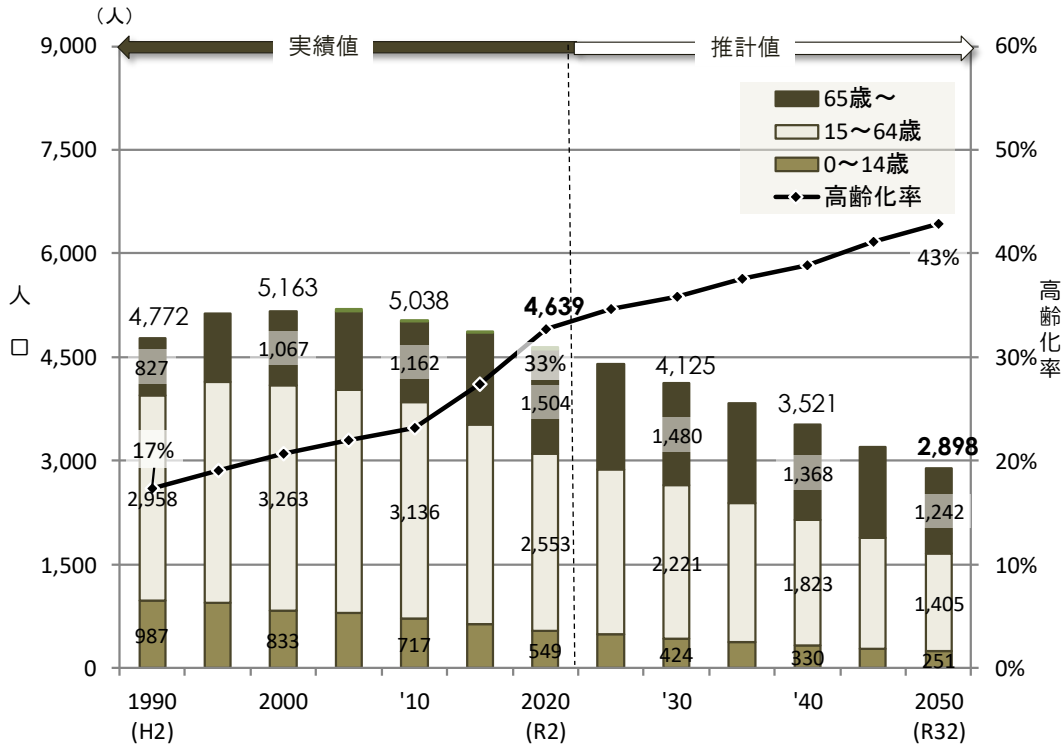
諏訪区



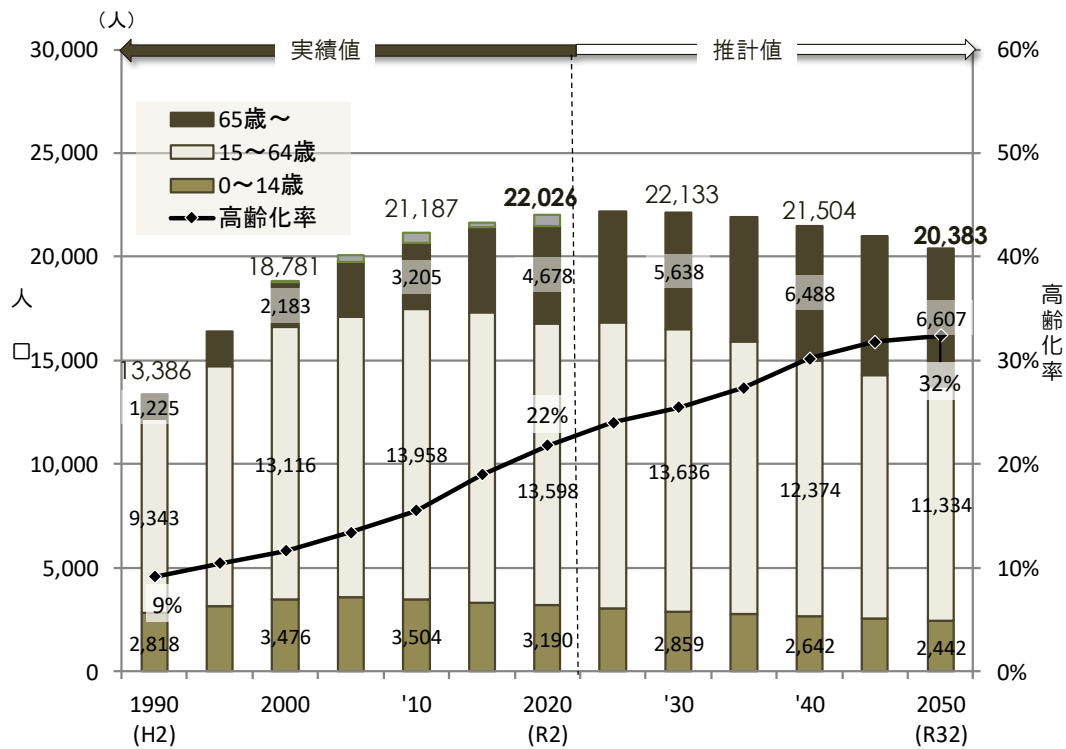
和田区



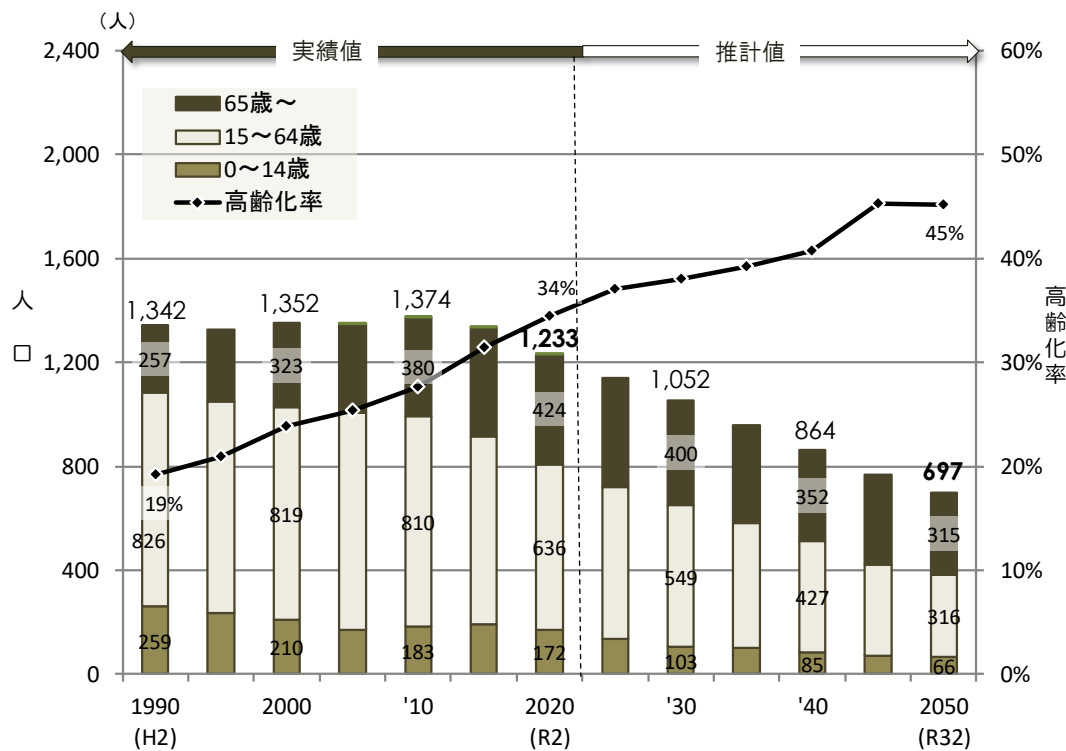
津有区



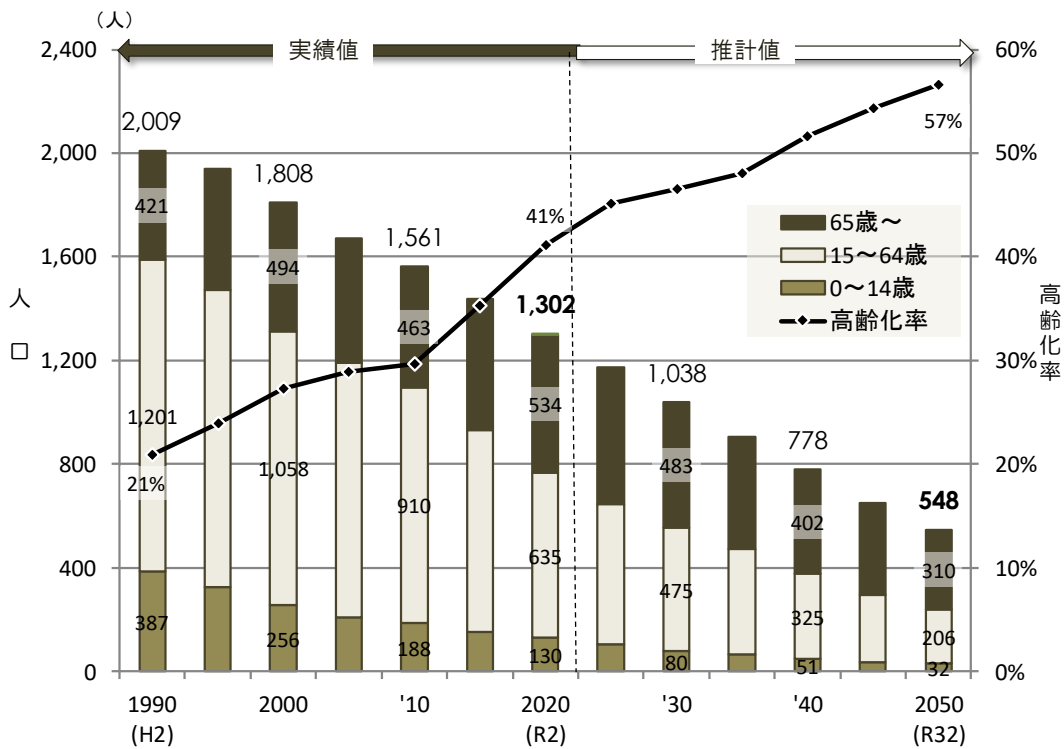
春日区



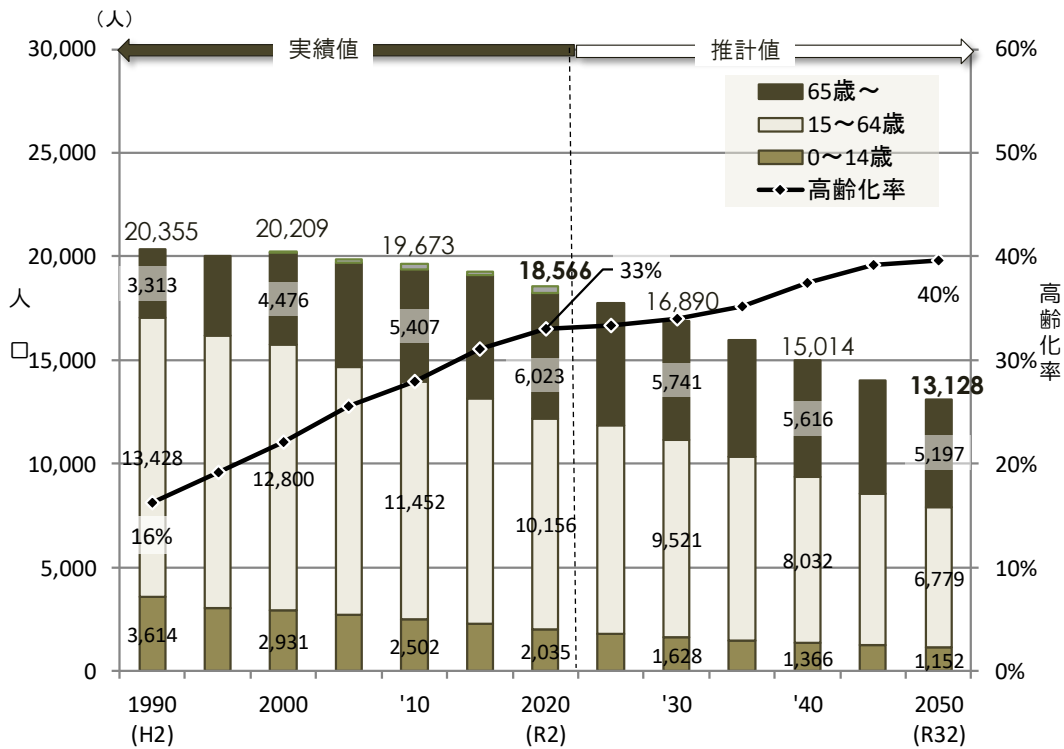
三郷区



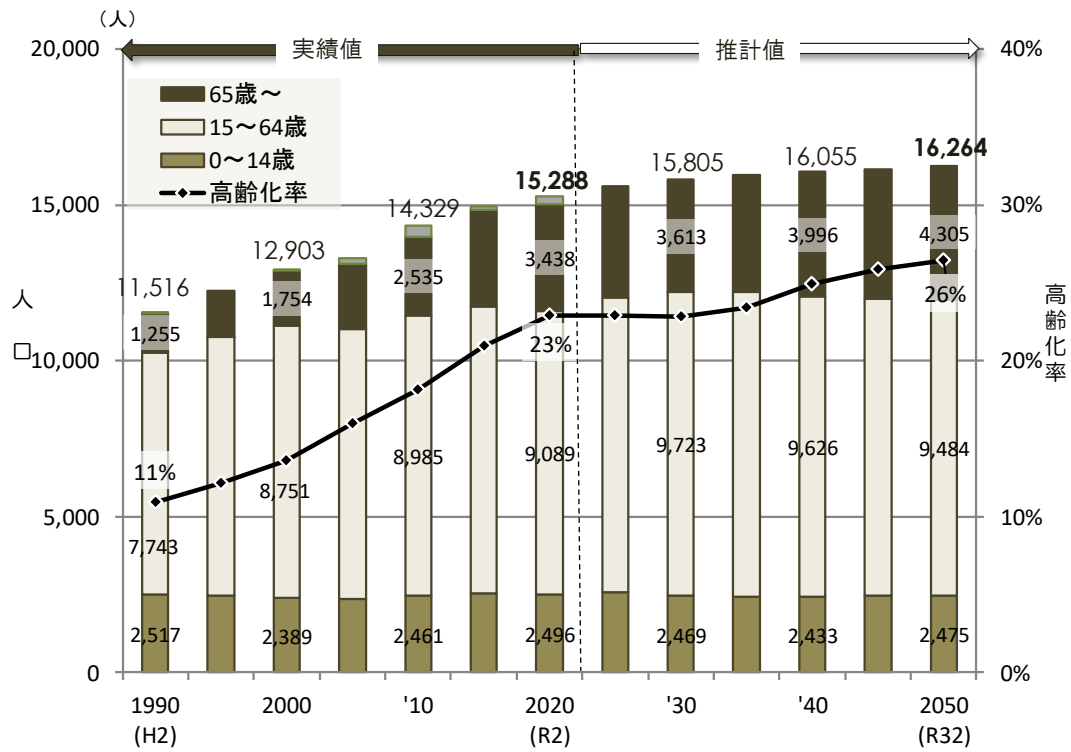
高土区



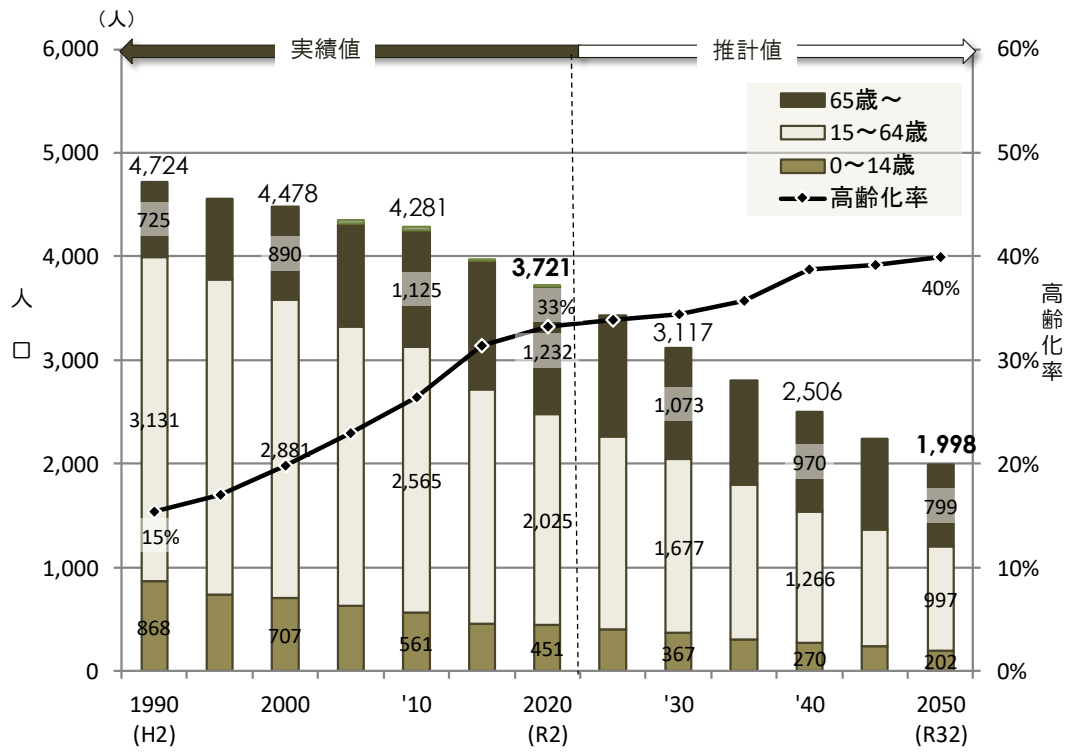
直江津区



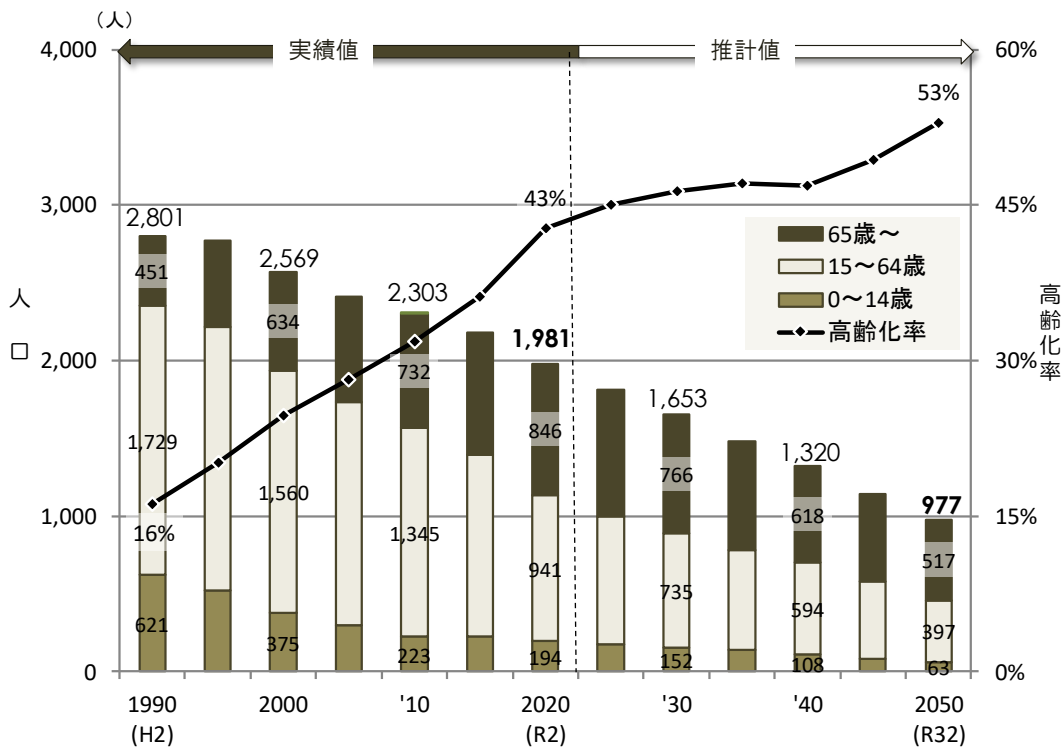
有田区



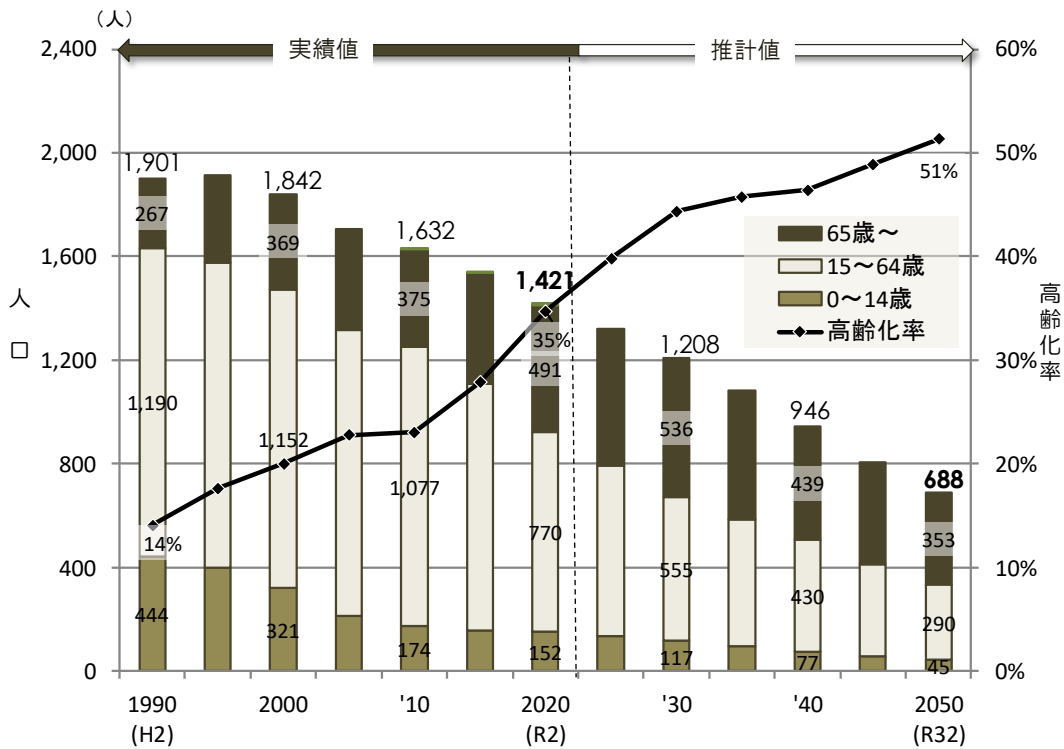
八千浦区



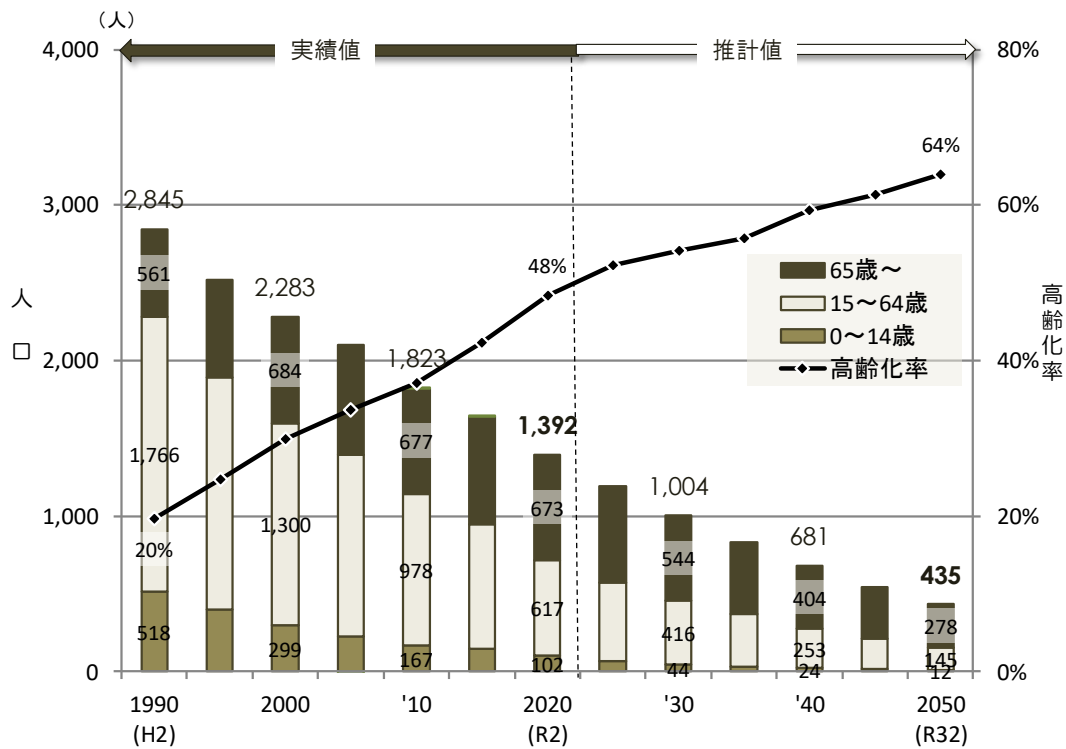
保倉区



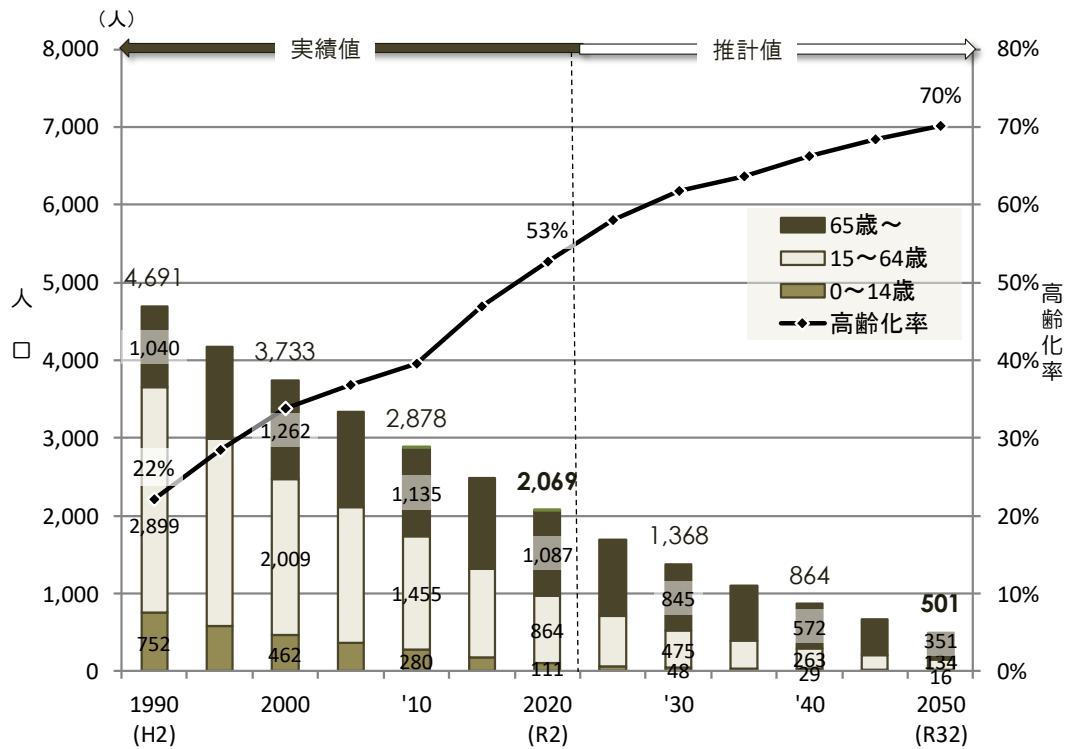
北諏訪区



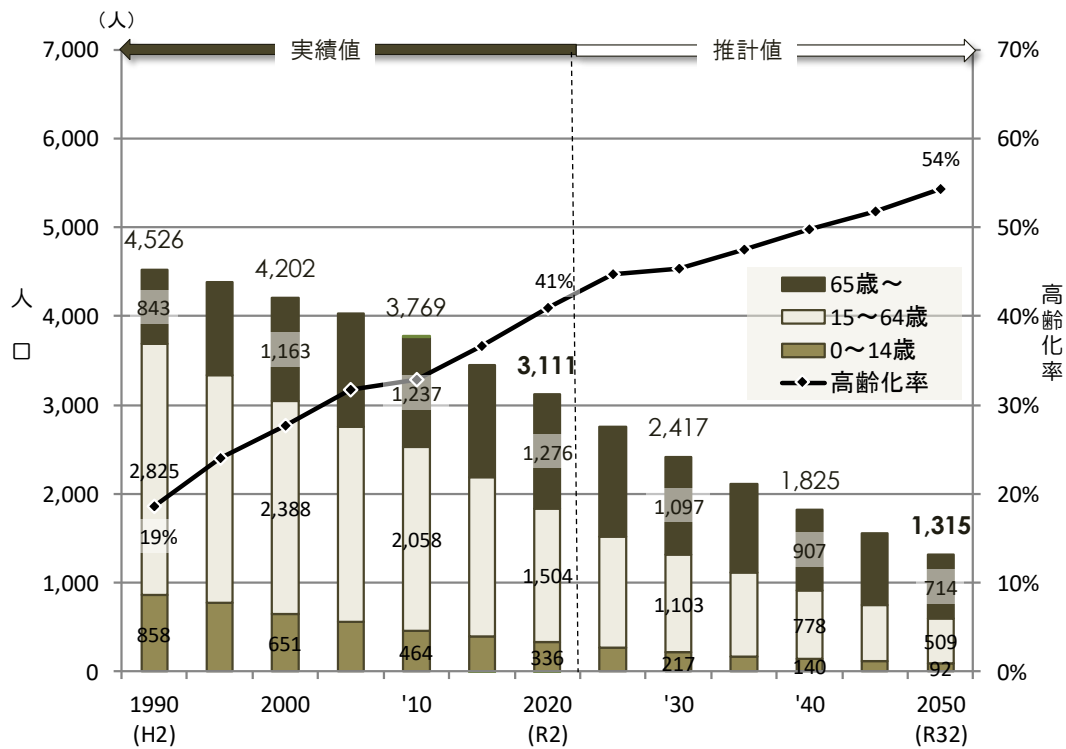
谷浜・桑取区



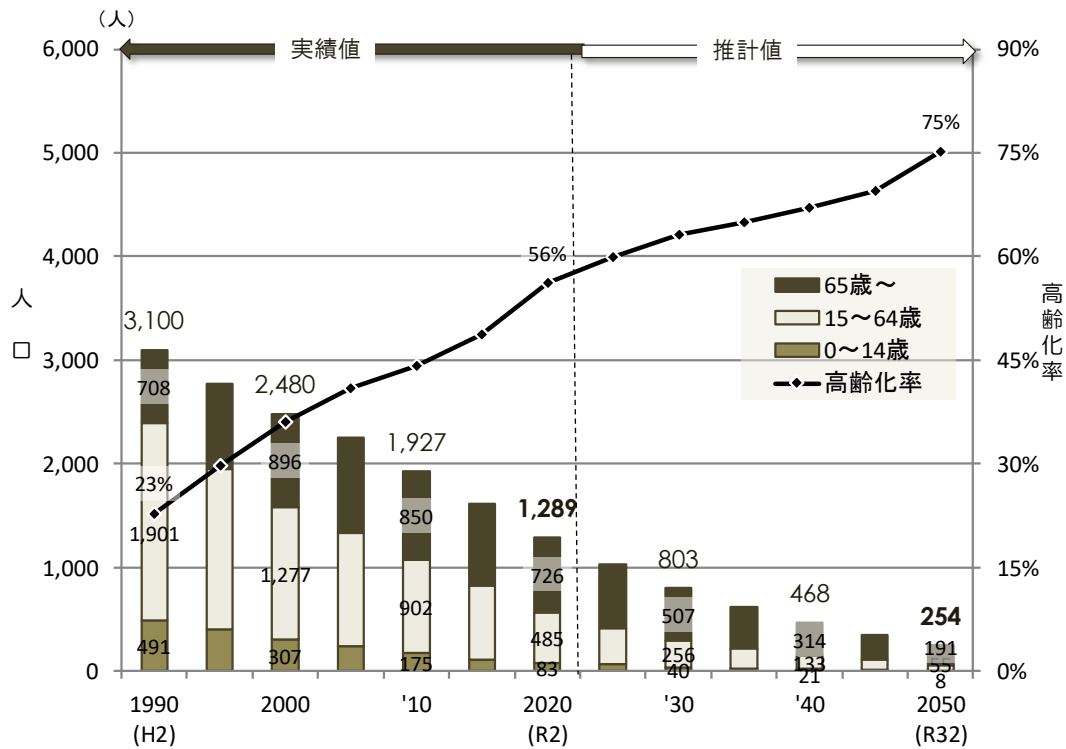
安塚区



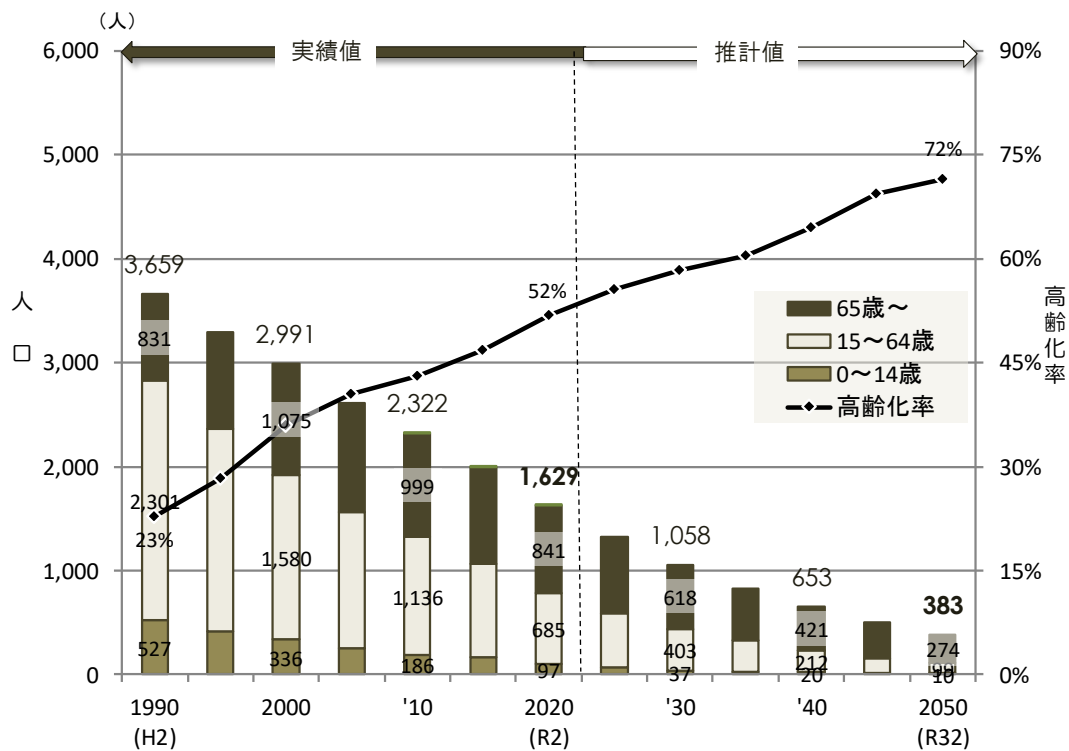
浦川原区



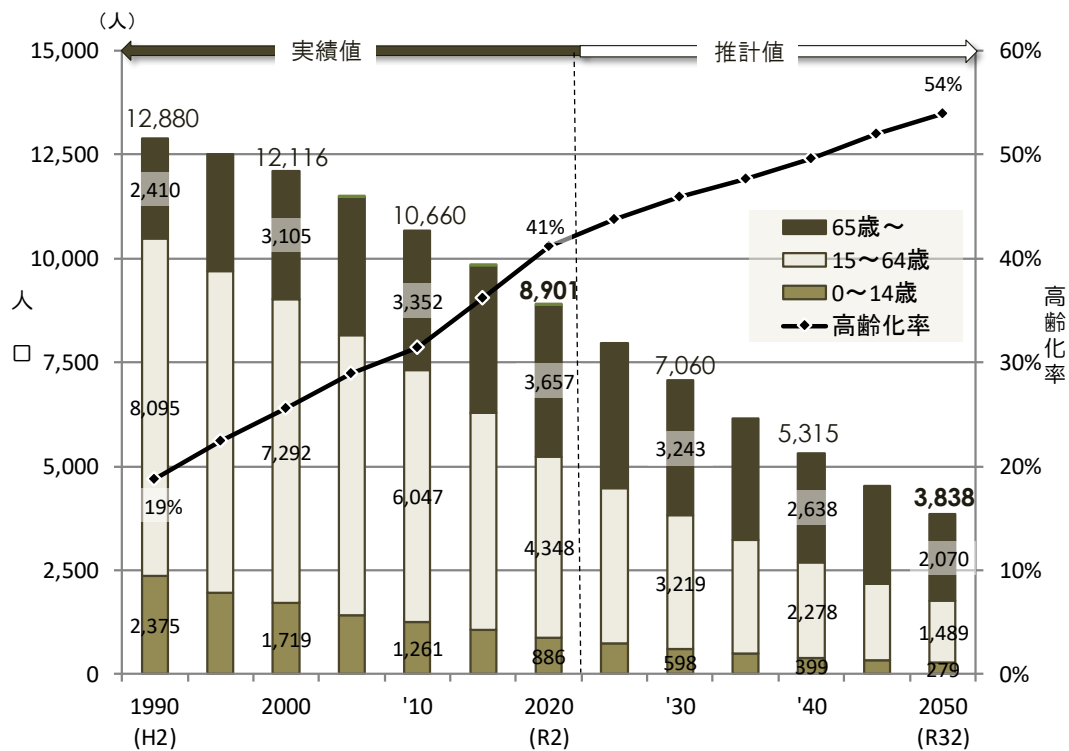
大島区



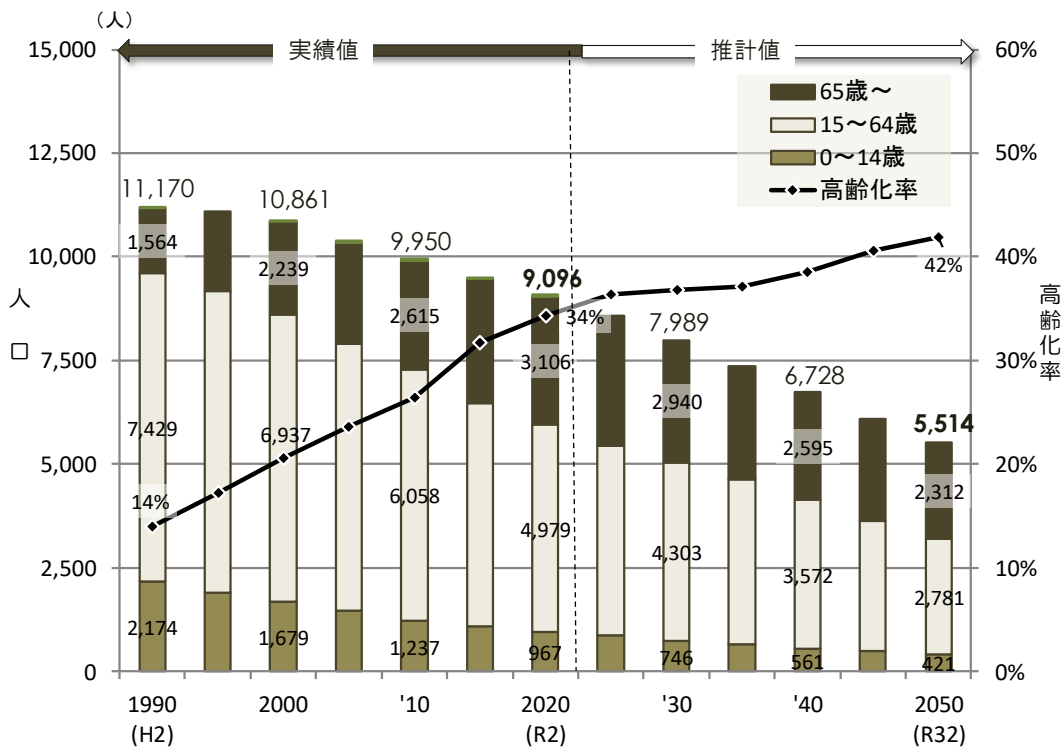
牧 区



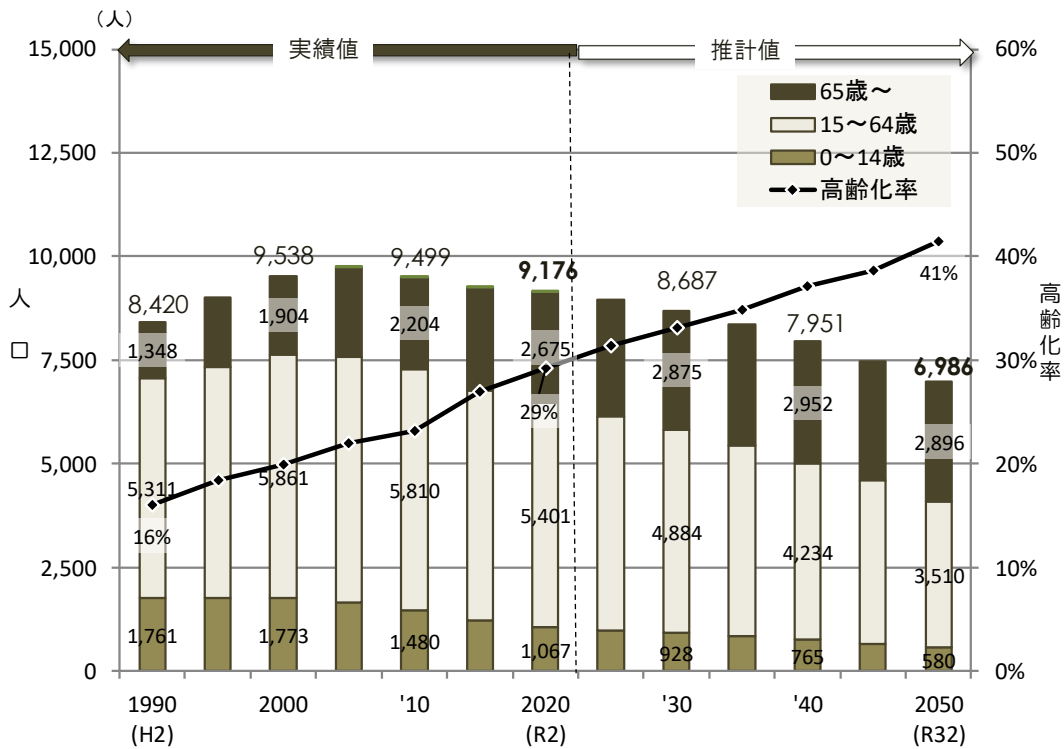
柿 崎 区



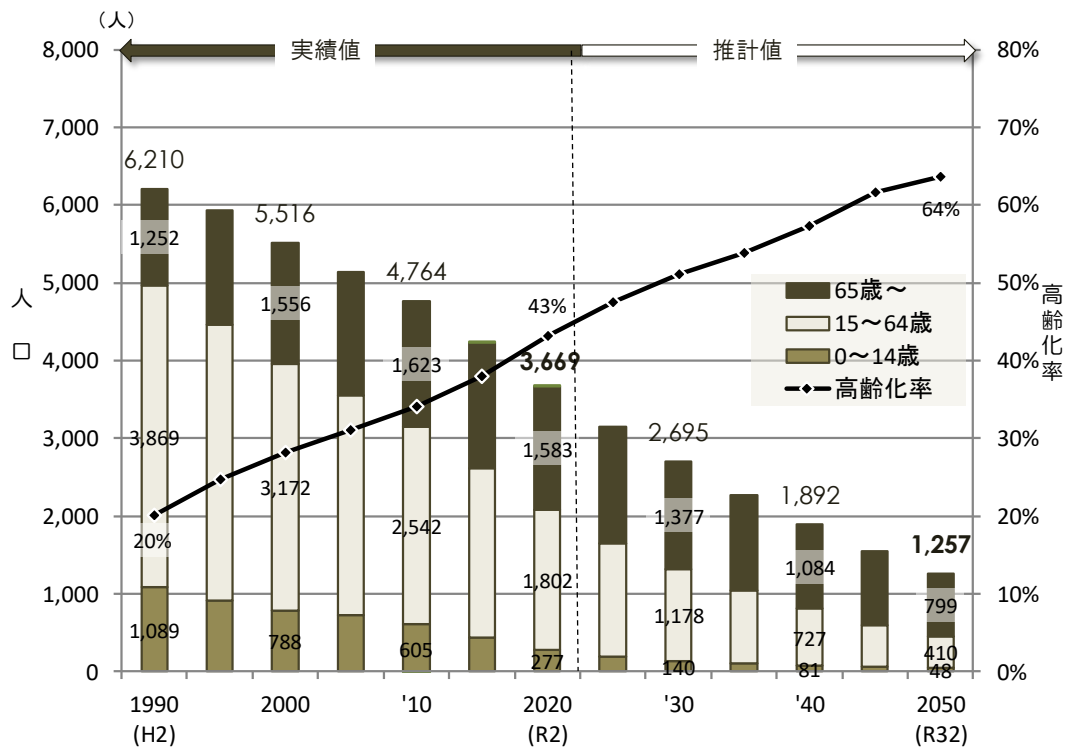
大 瀧 区



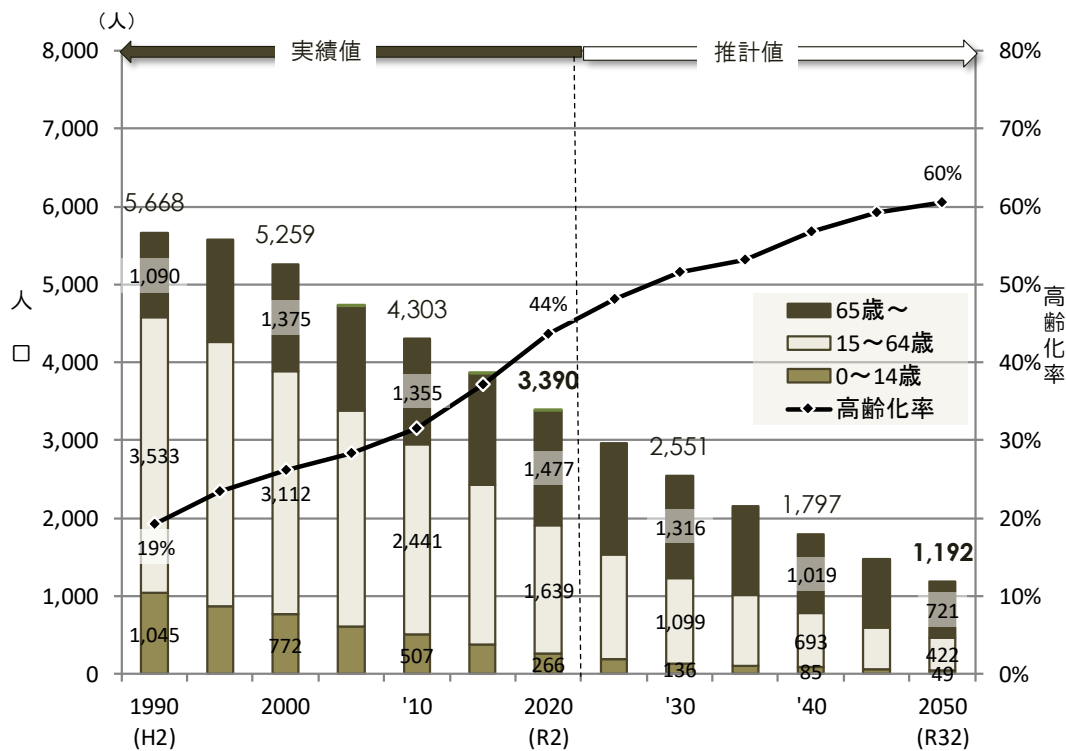
頸 城 区



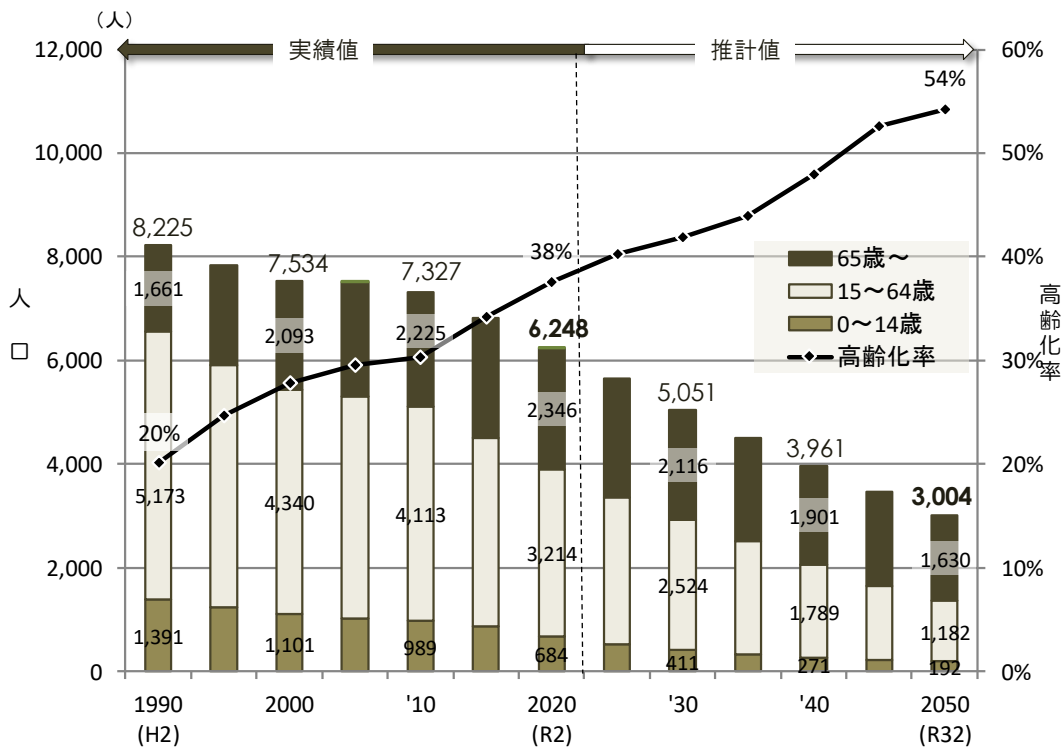
吉川区



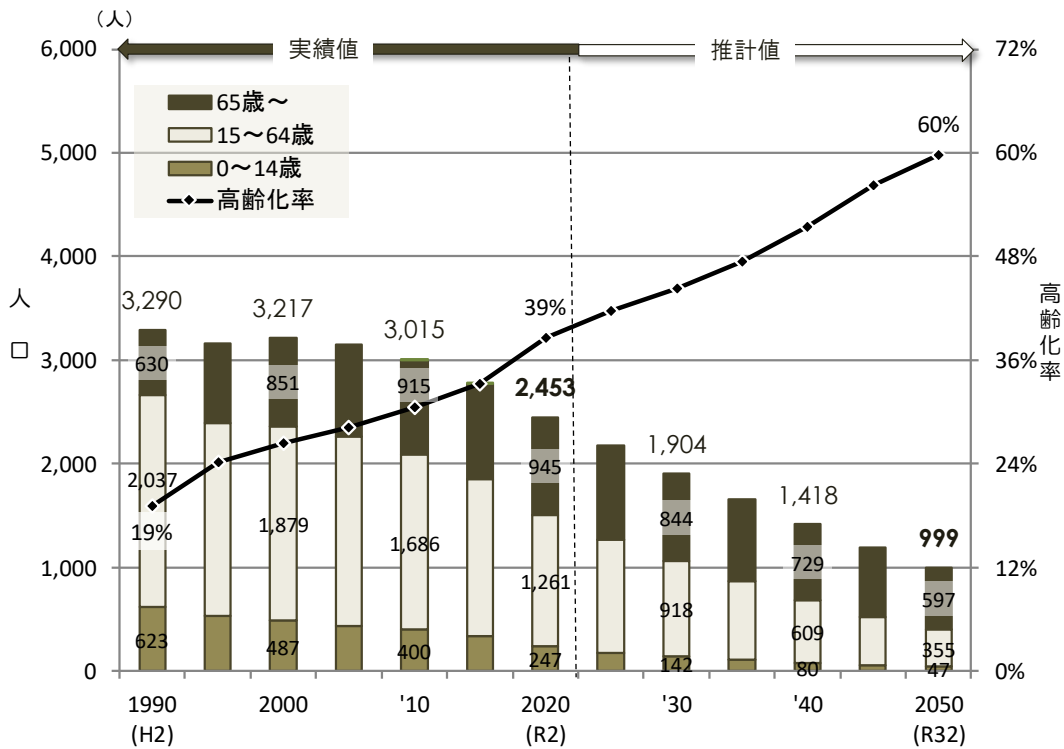
中郷区



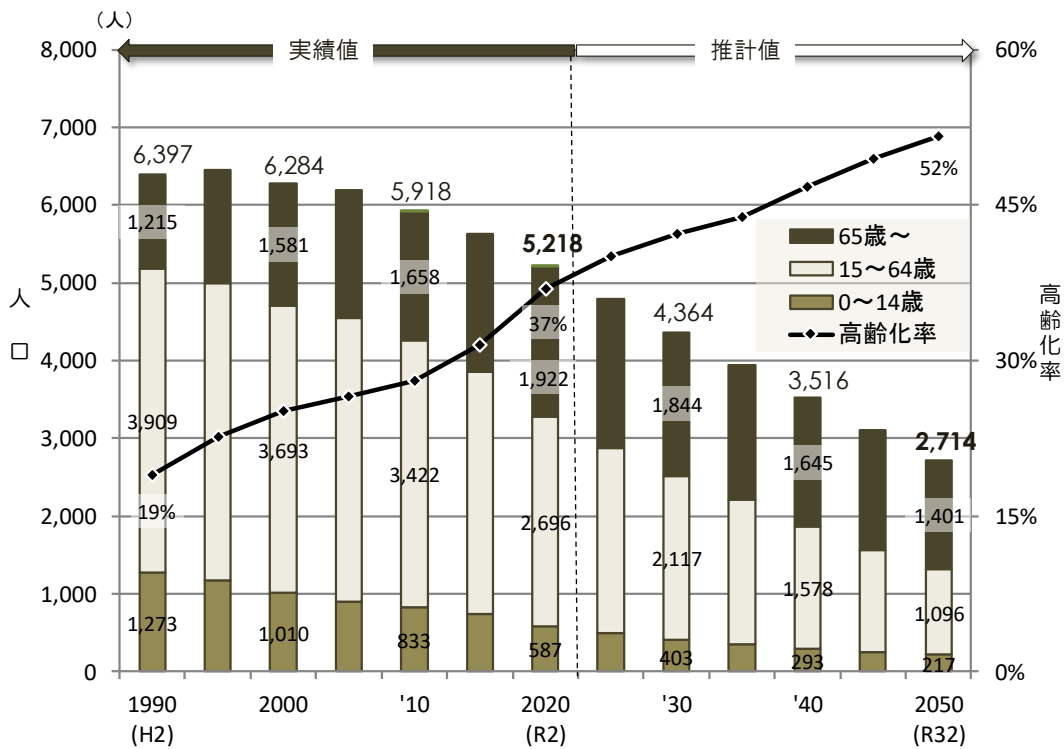
板倉区



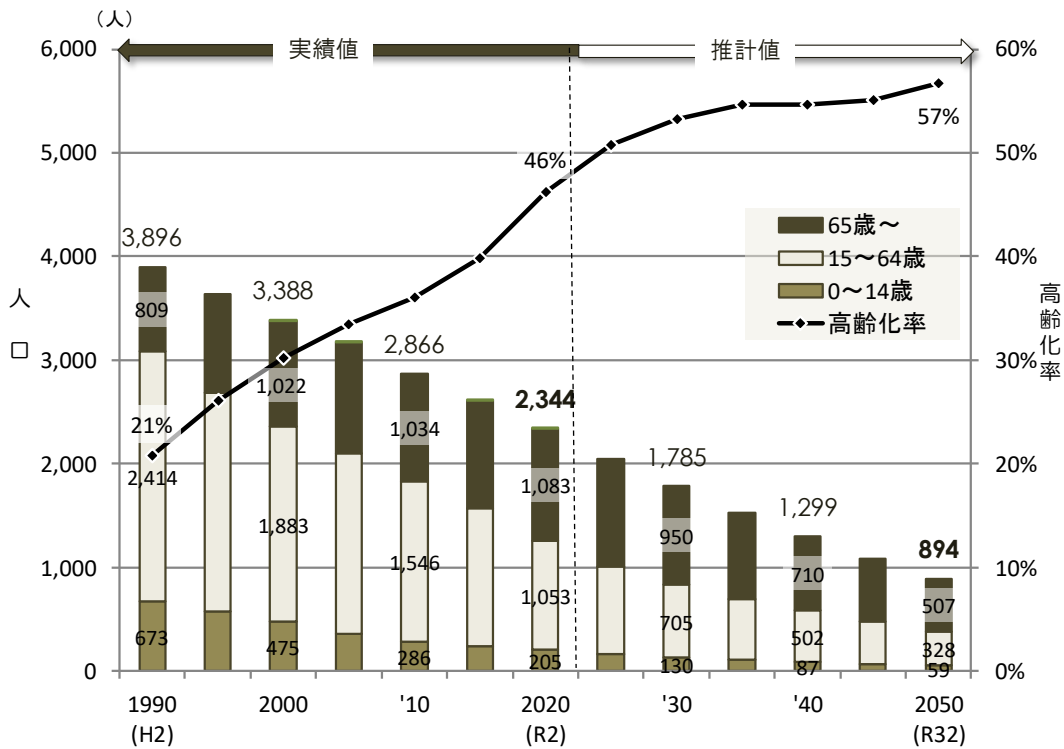
清里区



三和区



名立区



【参考】 転入者数が増加した場合の将来推計人口の変化の例（安塚区）

■ 現在の移動傾向に加えて、以下のような転入が毎年増加すると仮定

<仮定する条件>

- 毎年さらに**2**組の〔30代前半夫婦と4歳以下の子ども〕が転入 = + **6**人
 - 毎年さらに**2**組の〔20代前半夫婦〕が転入 = + **4**人
- (+10人/年)

■ 上記を達成した場合、総人口は現在よりも減少するものの、2050年頃には子どもの数が安定化し、高齢化率も低下している見込み

■ 仮定した転入数は地区内の人口の0.5%（2020年比）

※ ここで示した将来推計は一例であり、実際の地域の目標として設定しているものではありません。

安塚区

